

みんなファンド 2009 年度 助成事業報告書

平成 23 年 1 月 31 日

団体名	特定非営利活動法人ハーベスト
事業名	中高生向けキャリアセミナーの実施および効果の実測
<p>第1回キャリア教育研究会</p> <p>日 時：平成22年1月30日（土）17:00～19:00 会場：FiveBridge 会議室</p> <p>参加者：約30名</p> <p>概 要：第1回の研究会は、ハーベストが取り組む「キャリアセミナー」並びに「せんだい・みやぎオータムセミナー」のモデルである「愛知サマーセミナー」を開催し、高校生に様々な教育プログラムを提供している愛知県のNPO法人アスクネットの創業者であり、教育コーディネーターの先駆者としている毛受氏をお迎えし、地域協働型キャリア教育の現状についての講演会を開催し、地域におけるキャリア教育のあり方について議論を行いました。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
1/30 キャリア教育研究会講演会及び研究会	
<p>第2回キャリア教育研究会</p> <p>日 時：平成22年4月3日（土）16:00～18:00 会場：FiveBridge 会議室</p> <p>参加者：9名</p> <p>概 要：これまで実施した各校の状況を振り返り、キャリアセミナーが生徒にどんな影響を与えているのか・学校やクラスによって異なる反応の差は何によって生み出されているのかについて、実践校から収集したアンケートや個別の受講票などを紹介するとともに、キャリアセミナーで生徒に与えるべきものは何であるのか、また、それを測定する方法について議論を行いました。</p>	
<p>第3回キャリア教育研究会</p> <p>日 時：平成22年6月12日（土）16:00～18:00 会場：FiveBridge 会議室</p> <p>参加者：8名</p> <p>概 要：講師の多彩なバリエーションにあっても、できるだけ多くの高校生に伝えたい気づきや姿勢を伝えるために、どんな内容・スタイルの講話が有効なのか、講話のパターンと受講感を類型化したデータ等をご紹介しながら、キャリアセミナーの理想的な講師の組み合わせ・構成等について参加者間での意見交換を行いました。</p>	

第4回キャリア教育研究会

日時：平成22年7月30日（金）19:30～21:30 会場：FiveBridge 会議室

参加者：8名

概要：「学校別のキャリアセミナーの開催プログラムの必要性を検討する」ということで、タイプの異なる2校で6月に実施されたキャリアセミナーのアンケートの分析の結果に基づいてどの学校によっても同種の成果があらわれていることや、成果把握上の課題としては、生徒の表現力が差になっていることなどを報告、意見交換を行いました。



4/3 第2回研究会



7/30 第4回研究会

第5回キャリア教育研究会

日時：平成22年8月21日（土）17:00～19:00 会場：FiveBridge 会議室

参加者：9名

概要：「今後の講座・アンケート仕様の改善に向けて（1）」として第4回で認識された学校毎の生徒の表現力の差に対応するために、受講票の中の受講感想に関するアンケート項目の設計についての変更案の検討を行いました。9月以降の受講アンケートに早速改善した新様式を活用しました。

第6回キャリア教育研究会

日時：平成22年10月30日（土）17:00～19:00 会場：FiveBridge 会議室

参加者：10名

概要：「今後の講座・アンケート仕様の改善に向けて（2）」として、改善様式で実施した2校での受講感想や講師への評価を読み解きながら結果にあらわれた生徒の講師の評価の要因等について議論し、次年度のアンケート改修にむけたポイントを整理するとともに、“自署式”の資料収集に加え、生徒へのインタビュー調査等について検討を行いました。

第7回キャリア教育研究会（※別紙「案内チラシ」）参照

「キャリア教育フォーラム

～市民1,200人×中高生24,000人の語り合いから探る中高生向けキャリア教育のあるべき姿～

日時：平成22年11月28日（日）13:00～17:00 会場：ショーケー本館ビル3階

参加者：約30名

概要：これまでのキャリアセミナーおよびキャリア教育研究会で検討して内容について報告を行うとともにキャリアセミナー実施の高校・中学の教員および学識経験者によるパネルディスカッションを行いました。

報告者：吉沢真介氏（登米市立東和中学校校長）・玉田賢司氏（宮城県古川黎明高校教諭）
庄司和弘氏（庄司和弘経営コンサルティング事務所代表/NPO法人ハーベスト理事）



11/28 キャリア教育フォーラム発表及びパネルディスカッション

今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

アンケート調査の実施により、「生徒の反応がよかった」という定性的に見るしかなかったキャリアセミナーに対する生徒の反応を定量的に分析することが可能となりました。

こうした定量的な分析によって、ハーベストが取り組むキャリアセミナーの形式が多くの生徒に着実に支持されていること、教科の学力の差を超えてさまざまなタイプの高校においてもキャリアに対する意識向上に効果があることを証明することができ、学校現場の興味や認識を高めることができました。

実施校における生徒の反応をまとめたレポートは、新規に開催を検討する進路担当教員に活用され、2010年度中のキャリアセミナー開催希望は前年度の倍以上の学校から寄せられることとなり、キャリアセミナーを展開する学校数は、県内の全高校の1/3近くとなる30校ほどとなりました。（※別紙「実施校一覧」参照）

また、7回にわたり開催した研究会活動では、キャリアセミナーにおける受講生の受講選択行動や受講に対する反応についての評価方法やその測定方法について議論を行い、その検討結果を受けて受講票の様式変更や新規に加わる市民講師向けのマニュアルの改定・2011年度からのアンケート項目の見直し等のキャリアセミナー運営に際して活用する各種ドキュメント類の改善に反映することができました。

この研究会のスタート時と最終時には公開形式のフォーラムを開催し、ハーベストが取り組むキャリアセミナーの意義や、これまで取り組んできた成果内容等を報告し、キャリアセミナーに関心を持つ市民や学校現場の教員等を中心とした参加者と共有、これらの公開型のフォーラム参加を契機とした会員・市民講師の開拓に繋がっています。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか。

2009年-2010年度にわたり取り組んできたキャリアセミナーの実施効果の分析によって、多くの生徒にキャリアに対する意識の向上に働きかけができることを実証することができました。

来年度2011年度以降は、受講した生徒意識の変化について、さらに詳細に検証していくことを検討しています。

具体的には、キャリアセミナー受講前の生徒の状況を、キャリアに対する姿勢や意識の違いに応じてグルーピングを行い、キャリア教育に対するニーズの分析と、それに応じた講師のコーディネートを行う学校と通常実施の学校との比較分析を行うことによって、現在取り組んでいるキャリアセミナーの場をより効果的なキャリア教育の場とできるような改善を目指します。

こうしたキャリアセミナーの精度向上に向けた高次の分析に係る取り組みには、継続的に調査・分析に関わるスタッフもしくは外部の研究協力者の存在が不可欠だと考えています。

個々の生徒にとって、キャリアセミナーでの社会人との出会いがどのような影響を与え、その後の行動様式に変化を生じさせているのかどうかについては、質問紙調査のみならず、受講前後の受講生に対するインタビュー等が特に重要となってくることから、高校生のキャリア意識形成について長期にわたり経過観察できる存在が必要となります。

このため、キャリア教育に関係する研究領域をテーマとした研究者、あるいは、関連する論文作成のニーズを持った大学生や大学院生との協力関係を構築し、共同で研究することによって、分析および結果に基づく改善に取り組んでいきたいと考えています。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	300,000	
自己資金	7,493	会費収入より充当
合計	307,493	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
事務用品費	31,093	印刷用紙代、封筒代、文具代
会場費	26,460	キャリア教育フォーラム開催費
講師謝金	36,000	キャリア教育フォーラム講師謝金 @12,000×3名
講師旅費交通費	3,140	キャリア教育フォーラム講師3名分
印刷代	5,800	キャリア教育研究会資料印刷代、 キャリア教育フォーラムチラシ印刷
キャリアセミナー開催費		
通信費	80,000	2010年キャリアセミナー開催25校の 講師への資料発送費の一部に充当
印刷代	60,000	2010年キャリアセミナー開催25校の 受講理由調査票、受講票の印刷代の一 部に充当
担当者人件費	65,000	@2,500×2時間×13か月 ※担当者(中山)の2009年12月～2010 年12月分を計上
合計	307,493	

ファンドに寄付をいただいた方々へのメッセージをどうぞ。

みんなんファンドからの助成をいただき、誠にありがとうございました。

申請時のハーベストはNPO法人としては、設立初年度ということで、運営基盤の構築に取り組んでいる最中である一方で、団体のミッションとして実施してきた中学校や高校におけるキャリアセミナーをより多くの学校や市民に理解してもらうための、広報素材としてのキャリアセミナーの実績データの蓄積・分析データの整理や、それらを活用した周知活動に取り組むことが特に重要な時期にありました。

そのようなタイミングで調査・研究に活用できる助成を受けることができ、実施したセミナーの一つ一つを丁寧に分析・検討することができました。こうして取りまとめたデータは、キャリアセミナーの実施を検討している学校への有効な検討資料となり、2010年度のセミナー実施校を従前の倍近くに伸ばすことに大きく寄与しています。

さらに、研究会の初回と最後に行ったイベントでは、県外・県内のキャリアセミナーに取り組む関係者や関心を持っている人材が集まり、協力者の輪を広げる良い機会となりました。

ファンドを形成していただいた、寄附者の皆様、そして運営にあたっているせんだい・みやぎNPOセンターの皆様並びに審査員の皆様方に対しまして、厚くお礼申し上げますとともに、NPOとしての設立初年度にこうした機会を提供いただきましたことに重ねて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。